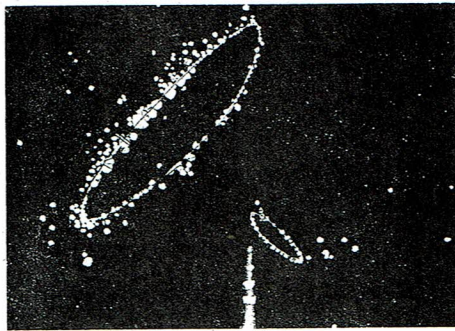


# 朝日 歌壇 俳壇



〈街かど 上野Ⅲ〉 岩尾恵都子

大鏡を結えぬ青年けが押しして大阪制す「よぐ、けつぱった」 (東京都) 椿 泰文  
 宗教は人の心を救いつつ「正義」のために肉体を撃つ (大洲市) 村上 明美  
 キョン除けの網で囲ひて明日葉の収穫もどりしわが家の畑 (東京都) 大村 森美  
 次々と「裏金」の記事目に入り古新聞を縛る苛立ち (氣仙沼市) 大崎 泰史  
 近未来的アトラクションの雰囲気吸い込まれゆくMRI (奈良市) 山添 聖子  
 手を合わせプールへ深き礼をする五輪出場決めし瑞花子は (観音寺市) 篠原 俊則  
 足湯にて見知らぬ人と話るのは相撲の熱海富士関のこと (町田市) 山田 道子  
 梅一気さへ開花は一呼吸吸し多数今年の春は (川崎市) 杉刈 有邦  
 散歩道の空き家は三軒閉ざされた戸の奥の消えた日帯 (本庄市) 田中 礼子  
 あの頃の母は六条御息所大人の世界かい間見育つ (東京都) 鈴木ひろみ

### 高野公彦選

【評】一首目、先日の大坂場所で優勝した五所川原市出身の若き尊富士を讃える。津軽弁を引用し、生き生きとした歌になった。二首目、宗教の偉大さと怖さ。三首目、小型の鹿に似たキョンは可愛いが農作物に被害を与える。作者は大島在住。

### 永田和宏選

遠ざかりまた遠ざかりゆくものを過去と呼ぶとき人は老いゆ (福島市) 美原 凍子  
 かくれんぼもう降参トラインきて公園に戻る小六の子 (堺市) 黒田麻里子  
 次々とスマホ渡しつ渡されつ校門に撮る卒業写真 (焼津市) 増田謙一郎  
 休日の街でスマホをオフにして今日の私は空白になる (横浜市) 佐藤 隆司  
 「記録より記憶怪我さえけつぱった」土俵上がる津軽のじよっばり(五所川原市)戸沢大二郎  
 しんごと言ふてはならぬしんごと言へば恥づかし能登を思へば (豊中市) 夏秋 淳子  
 追いつけぬ背を追つてゐた長尾さん朝日歌壇の兄貴が死んだ (甲府市) 村田 一広  
 鱧脚綱枝角曲目の名を捨てて鱧の一字はどうだ(ミシン) (京都市) 袴田 朱夏  
 お座りをやつとしてゐるガザの子のつみ木のやうに瓦礫に遊べり (横須賀市) 今津 美春  
 山折りと谷折りのあるブリーツのスカートの裾春風を呼ぶ (市原市) 笠原 英子

【評】美原さん、箴言風の一首。なるほど、過去として遠ざかっていくものの多さが老いを実感させる。次の三首はスマホ三態。今どきのかくれんぼはラインで降参するのかと驚く。卒業写真もスマホだし、スマホをオフにしてやっど自由。

### 馬場のき子選

世界から見捨てられたる命とガザの看護師現場離れず (秩父市) 山田 時子  
 抱いている親のどこかをつかんでる赤ん坊の手の力強さ (耶山市) 遠藤 雍子  
 仰向けに孫の動画を見て過すブロック注射あとの安静 (福山市) 倉田ひろみ  
 馬車道を姉と歩けばしっとりとした気分馬の気配も感じ (富山市) 松田 わこ  
 真夜中のナースコールに隣室で夜はオムツで朝まで耐える (京都府) 片山 正寛  
 「戦争は悪だ」と詠みし歌人あり今こそロシアにはたイスラエルに (多摩市) 柳田 主馬  
 ☆学校で教えるという鬼ごっこ餓鬼大将も絶滅危惧種 (さいたま市) 松田 典子  
 臨終の母の病室温かくガラス一枚距つる吹雪 (多摩市) 豊間根則道  
 世界一の民主国家と豪語する九条のなき大國ばかり (霧島市) 秋野 三歩  
 ユダヤ人アラブ人が共に暮らしたるフィルムに映る眩しき春陽 (石川県) 瀧上 裕幸

【評】第一首はガザ地区で負傷を負った人々を診る看護師。これも命がけで活動しつつ援助もない。「見捨てられたる命」の一語がきびしい。第二首、抱かれていた赤ちゃんの本能だろうか。親のどこかを握む手の強さを発見し感動。

### 佐佐木幸綱選

三月の流れる雲は光増す鳥山さんの悟空を乗せて (仙台市) 小野寺健一  
 ☆学校で教えるという鬼ごっこ餓鬼大将も絶滅危惧種 (さいたま市) 松田 典子  
 あかきおお傘と傘とが触れあつて新年に初めて雨 (大津市) 阪倉 隆行  
 妹が骨折したる縁帯をふむむと聞きそののち笑ふ (伊賀市) 秋田 彦子  
 友を待ち何時間でも駅に立つそんな時代を生きたし幸せ (境港市) 大谷 和子  
 花柄の人数分のカレー皿五ヶ月ぶりに父退院す (佐倉市) 塩田 真知  
 モバイルもネットもある世にたたくに3時に罪を閉ざす銀行 (春日市) 横山 辰生  
 果樹園の花のかげより人声が聞えて春の作業がはじまる (アメリカ) ソラー 泰子  
 百十年の遙かな記録塗りかえる尊富士わが府立体育館で (豊中市) 前田 禮子  
 おまじないいつか叶つと信じてる君の名前を消しゴムに書く (豊田市) 多原 美玖

【評】第一首、三月一日に亡くなった鳥山明氏への挽歌。私も『ドラゴンボール』を愛読した。第二首、そう言えば、近くの公園でも鬼ごっこをする子供を見かけなくなった。第三首、カラフルな傘の新年生かたちが、はじめての雨に大さわぎの場面。

## 短歌時評 恋の歌のようできて

大河ドラマ「光る君へ」には若き日の紫式部や清少納言が登場し、私たちにとっては教科書のなかの人物である彼女たちの生き生きとした感情の揺れや才知の一端を窺い知れるようでおもしろい。「源氏物語」と「枕草子」はあまりにも有名なが、物語や随筆の書き手としてすぐれた二人は、はたしてどんな短歌を詠んだのだろう。百人一首に採られてゐるそれぞれの短歌を見てみたい。

に雲がくれにし夜半の月かな  
 歌意は「久しぶりに会って『なつかしい』と思う間もなく、雲に隠れる月のようにあなたは帰っていつてしまった」。

に逢坂の関はゆるさじ  
 歌意は「夜が明けないうちに、鳥の鳴き真似をしたって私の逢坂の関は開きませんよ」。仲の良かった才英の藤原行成と夜更けまで雑談に興じたのちに贈りあつた歌。鶏の声を合図に開く関所を鳴き真似をして夜のうちに開かせたという函谷関の故事を踏まえている。「逢坂の関」は男女の仲になることの比喩で、それは「ゆるさじ」と。ウィットに言んだ彼女らしいセンスの光る返歌。

◇5月5日の歌壇俳壇面は休載します。

阪西敦子句集「金魚」朝日俳壇「俳句時評」前筆者の第1句集。1984年から2022年までの作品を収録。「金魚揺れべつと金魚の現れし」「ラガーらの目に一瞬の空戻る」「人の上に花あり花の上に人」。跋はホトトギス主宰の稲畑廣太郎。(ふうんす堂・3080円)

☆は共選作。入選作はデジタル版にも掲載・収録し、記事やSNSで引用することがあります。投稿は未発表の自作のみ、二重投稿不可。選者が添削する場合があります。郵便での投稿は無地のはがき1枚に1作品、横に住所、氏名、電話番号を明記。〒104-8661 晴海郵便局私書箱300。短歌は「朝日歌壇」、俳句は「朝日俳壇」。歌壇は「朝日歌壇」に掲載できず「朝日俳壇」に掲載される。お問い合わせは「朝日歌壇」編集室まで。